

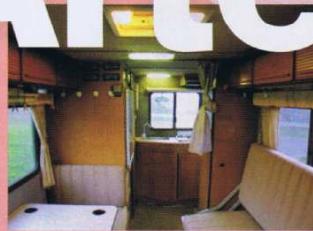
キャンピングカー



Before

ビフォーアフター

After



〈リフォーム実例集〉

キャンピングカーの中は冷蔵庫、キッチン、ベッド、ダイネットなど家庭と変わらない装備がある。

ということは、家と同じようにリフォームができるということだ。

実例集を参考にしながらリフォームに挑戦してみよう。

TEXT：浅井佑一

中古車をリフォームする

震災の影響でキャンピングカーのベース車のデリバリーが遅れている（5月31日現在）。

ビルダーにクルマが届かないでの、お客様から新車の注文があつても製作できないといった状態である。

通常でもビルダーに注文を入れてから3カ月待ちなんていふ納車スケジュールだつたりするので、さらに時間がかかることは間違いない。

こんな状態の中でクルマをすぐに入れたいと考えている人に注目されているのが、中古車だ。気に入ったものがあれば即納が可能で、すぐに手に入れることができる。

しかも装備品もすでに付いていることが多く、FFヒーターやサイドオーニングなどでオプション料金が余計にかからないのがいい。

問題は人気の中古車はすぐに売ってしまうこと。そして新車購入ならばクルマを選び、さらに使い方に合わせたレイアウトや好みの生地の色を选べるが、中古車は現車のみ。なかなか気に入った1台に出会えることは少ない。

そこで注目したいのがキャンピングカーのリフォームだ。住

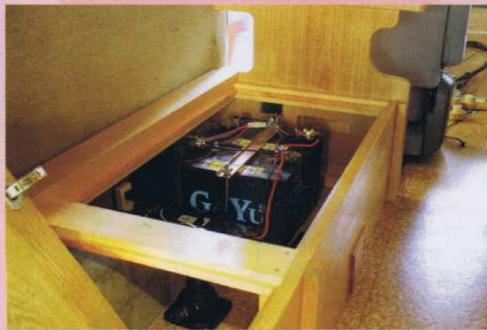
宅のリフォームは日本でも一般的だが、キャンピングカーとなるとほとんど知られていない。

ところが欧米ではキャンピングカーリフォームでTV番組ができるほど知られた存在。

古いキャンピングカーを使いやすいレイアウトに変更したり、最新的の装備が取り付けられていく様子は見ていておもしろい。こんなに変わるんだ！という驚きがある。

現在乗っているクルマをリフォームしたいという人もいるだろう。家族が増えてレイアウトを変えたいとか、長年使ってき

●カトモーターでは入庫してきた中古車すべてに対してメイン、サブバッテリーを交換する。リフォームの基本作業といえるだろう



名車口デオの内装をフルリフォーム!

実例

01

ビフォー／アフター

コハマモーターセールスが製作したロデオはマイクロミニとして人気のキャンピングカー。国産でマイクロミニは少ないので、もう20年以上たつモデルもあるが、現在でも中古車として100万円前後の価格で販売されているのを見かける。バンクベッドが広いこのクルマをリフォーム。レイアウトはそのままだが、フルリフォームをしている。車両以外にかかったリフォーム費用は約200万円。シート、テーブルなどは流用しているが、上部キャビネットやリヤのキッチン、収納庫などはすべてカトーモーターで作り直した。前オーナーがDIYで付けたフックや開けた穴など細かいところもキレイになっている。



Before



After



ベンチレーターを最新のものに交換。天井の壁紙も張り替えて明るい印象に変わっている。フロアのジュウタンをクッションシングル口に替えてメンテナンスがラクに

Before



After



冷蔵庫はキャンプスタイルに合わせて容量を小さくして、空いたスペースを収納庫に変更。使い勝手に合わせて作り直せるのもいい。キッチン前のフロアには床下収納庫を作成した

Before



After

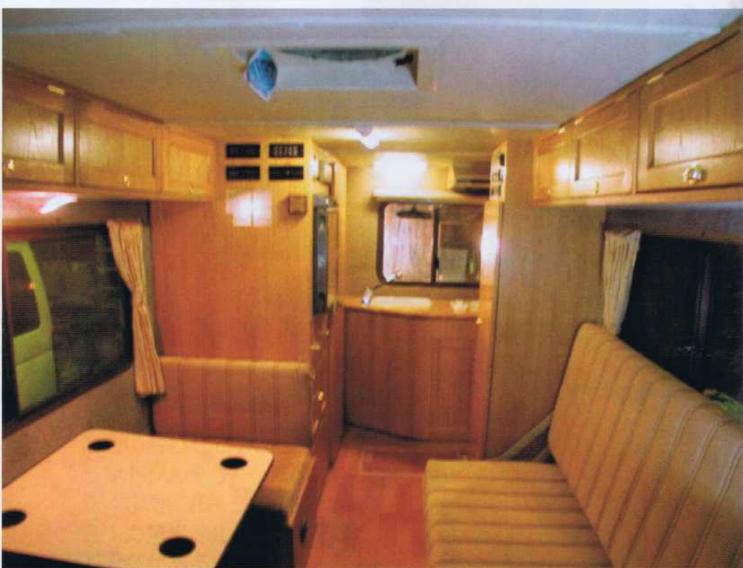


シンクやコンロも新しいものに交換した。キッチンの天版が白から木目になつたことで、印象がずいぶんと変わつて見える。蛇口も新しくなりリフレッシュされた

●ビフォーの写真は昼に撮影したもので、アフターが夜なので、同一条件ではないのだが、間違い探しのように何が変わったか見てほしい。シートとテーブルのみ流用している



After



たので、壁紙を張り替えたいなどという要望もあるはずだ。結局使わなかつた装備を取りはずし、そのスペースに新しく棚を作つたりするだけでも使い勝手はずいぶんと変わつてくるのだ。

架装シェルは古くても補修したり、レイアウトをし直すことでき違えるほどキレイになる。だからレイアウトがイマイチでも、車内装備が古くさくても、ベース車の走行性能がしっかりといる中古車を見つけたら、リフォームして自分の好みに仕上げてしまうのも手なのである。新潟県にあるカトーモーターは積極的にリフォームを手がけているビルダーだ。そこでリフォームについての話を聞いた。

取材に行くと、ちょうど100系ハイエースベースのオーダーサイドがリフォームのために入庫中。シート生地の交換やリヤのバックステップの取り外し、カーナビの移設作業などをしているところだった。

今回実例集として紹介している3モデルはすべてカトーモーターがオーダーサイドのようにして手がけたクルマだ。

そこでまずはP47のロデオを例にとって、リフォーム作業の流れを説明しよう。

ロデオの場合お客様から

扉とテーブル、外装もリフォームしたテラ500

バンテックのテラ500はフロントエントランスで、リヤにキッチン、トイレルームを装備するキャブコン。リフォームではビニールシートがキレイだったのでそのまま流用。家具の枠は残したままで、扉や引き出しだけを作り直した。冷蔵庫は流用、床は断熱処理を施してクッションフロアに変更した。天井の張り替えをすることで、くすみがなくなり明るくなった。内装の変更でかかった費用は約150万円。またこの車両は外装もリフォームしている。エントランスドアの塗装、キズ直し、オーニングの交換などで約50万円かかっている。エントランスドアを同色とすることで一体感が生まれた。

実例

02

ビフォーアフター



Before

After

Before



After

Before



Before



After

●ダイネットではテーブルの面積が大きいので、木目に変わると温かみのある雰囲気になる。ダイネット上の扉も木目に変更している



After

Before



After

Before



●カトーモーターではリフォームに関して、たいていの要望に対応してくれる。シート生地の変更もベッドマットだけではなく、現物合わせをしてくれる



の依頼によるフルリフォームで、車内の家具をすべて取りはずして、棚、キッチン、クローゼット、ダイネット、シート、そしてベンチレーターや内張りなどをすべてだ。
ちなみにただ取り外すという作業でも、それぞれのビルダーの考え方方が分かっておもしろいそうだ。ビルダーごとに家具の留め方、電気の配線の取り方などが違う。つまりはクルマの製作に対する考え方もあること。
そんな話を聞くと、やはり見

パーツ交換でトイレをリフレッシュ



**TOILET
fresh-up
SET**



古キャンピングカー購入でシート生地を交換したいというのは、人が寝たマットで寝たくないからという気持ちからだろう。同様にトイレもそう感じる人も多い。公衆トイレでは使い捨ての便座カバーがあつたりするくらいだし…。というわけでキャンピングカーのトイレパーツの紹介である。トイレフレッシュアップセットは、カセットタンクと便座、ケミカルがセットになった商品だ。適合するのはセットフォードのC-200というタイプのトイレ。便座の裏側をはめるだけで交換できる。トイレタンクもやっぱり新品は気持ちがいい。セットになっていて価格もお買い得だ。

トイレフレッシュアップセット

価格：2万1000円
問ロータスRVパーツセンター
☎048-481-0303 www.rotas.co.jp

「クイーンハット」を後付けする手もある



クイーンハットとはカトーモーターオリジナルのFRP一体成型ルーフだ。リフォームとはちょっと違うかもしれないが、これまでミニバンで車中泊をしていて、ちょっと手狭に感じている人はこのルーフを架装してみるとどうだろうか。

架装費用は130万～140万円。車種によって違うので興味がある人

は問い合わせてみよう。エスティマ、ノア、セレナ、ハイエース、ランドクルーザー、シエンタなど多くのモデルで取り付け実績がある。また、ルーフ架装後は構造変更が必要で、架装期間は1カ月から1カ月半。ルーフベンチレーターやラックなどはオプション装備で用意がある。

えないところまで丁寧に作業しているビルダーのクルマを購入したいと思ってしまう。さて、この家具のない状態になつたところで、雨漏りのチェックをする。ホースで水をかけて、水漏れの確認をするのだ。「家具を外した時点で、壁に雨のシミが付いていることもありますね（カトーモーター・古澤清隆さん）」ということで水をかける間もなく判明することもある。結露によるカビが隠れていることもあるそうだ。リフォームするくらいのクル

モーター社内で縫製される。このときにウレタンマットにへたりがあれば交換する。リフォームはシート生地の交換だけでも受け付けている



木のぬくもりが感じられるヨーロピアンに変身

実例

03

ビフォーアフター

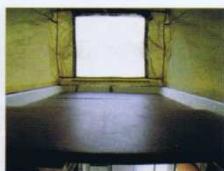
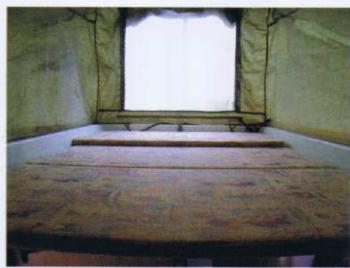
タウンエースベースのポップアップルーフ車、アム・クラフトのヨーロピアン。こちらはカトーモーターでリフォームした後に販売した。フロアの張り替え、キッチンの作り直し、電気品もすべてやり直し、かかった費用は約150万円。

スタイルッシュな内装が特徴のヨーロピアンだが、木目を生かした内装もいいかもと思わせる仕上がりだ。ポップアップルーフ内のベッドのマットまで変更している。



Before
After

●黒と白の室内から明るい室内になった。リフォームするときは自分で生地を選べるので好みのものに変えられるのがいい。クッションの厚みも調整できる



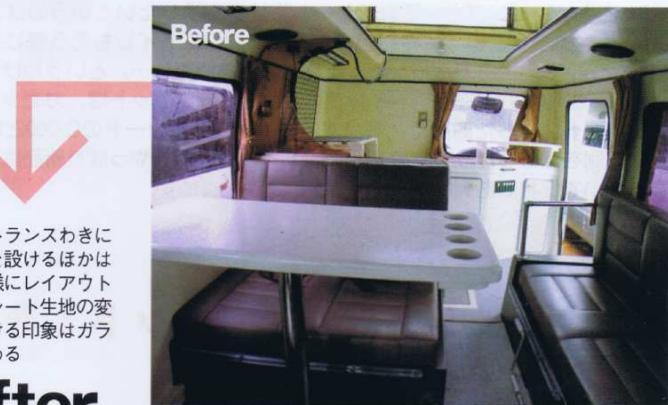
Before
After

●ポップアップルーフ内のベッドマットも、フロアベッドのマットと同色に合わせてある。思い切って赤や青の原色にしてみるのもおもしろいかも



Before
After

●キッチンはL字型ですっきりとまとまっている。シンクとコンロ位置を変更。基本的にサイズはいっしょだが印象は変わる。リフォームをするときにはいろいろなクルマを見ると参考になるだろう



●エントランスわきに収納庫を設けるほかはほぼ同様にレイアウトだが、シート生地の変更で受ける印象はガラッと変わる

Before
After



マだから、FRP外装もそれに経年劣化をしているので雨漏りチェックは重要な項目。雨漏れが見つかればコーティングを施し、場合によってはFRP補修をする。

そして次にフロアを張る。このときに忘れないに断熱材を入れる。ときどきバンコンで断熱材だけを入れてほしいというオーダーがある。そうだが、床全面に張るためにフロアに載っている家具をすべて外すことになるので手間がかかる作業だ。

床のあとは天井を張り、室内に何もないがらんどう状態になる。ここからオーダードおりの家具をレイアウトしていくのが、現物合わせの作業になる。

電気配線もこのときにしっかりと考へてやっておかないと後からでは面倒な作業だ。

家具を組み込み、設備品を載せる。あとはスイッチの取り付け、設備品の動作確認などを行なって終了。ざつとした作業の流れは以上だ。

ちなみにカトーモーターでは中古車販売、リフォームにかかわらず、入庫したクルマに関しては、メイン、サブバッテリーを新品に交換、下回りのサビを落としてシャーシブラックを吹き付ける。外装のひどいキズやヘコミを板金処理する。

リフォームはもちろん、中古車もお任せ



力 トーモーターでは自社製品はもちろん、他ビルダー製の中古車リフォームも受け付けています。リフォームすることで気持ちよくキャンプに出かけられるし、クルマの寿命も延びて、いいことづくしだ。DIYで車内に手を入れるのも愛着がわいていいが、フロアの張り替えや家具の組み直しなどは大作業になってしまいます。時間のない人、不安な人は業者に任せるのがいいだろう。また、カトーモーターがリフォームをした中古車を販売中。情報は5月31日(火)時点のものなので、本が販売されたときには売れている可能性もあるので、ご了承下さい。

問カトーモーター
住所: 新潟県燕市小高6245-1
☎0256-62-6516

中古車情報

タウンエースクイーンハット

価格: 84万円



town ace
Queen Hat

●'94年式・4WD・AT・ディーゼル/走行: 6万2000km/装備: サイドオーニング、ベンチレーターなど

●クイーンハットを架装しているので車内でも立って移動できる。セカンド、サードシートでダイネットになる



●'05年式・4WD・AT・ガソリン/走行: 5万4000km/装備: サイドオーニング、FFヒーター、バックアイカメラなど

J2デッキ

価格: 414万7500円



●リヤゲートを開けると収納スペース。カトーモーターらしいムク材をふんだんに使った内装だ

J2
DECK

最後はリフォームの依頼について。例えばテーブルを新しく作つてほしいならば、写真やサイズを記した図面のやり取りで見積もりを取つてもらつてはじめて価格が分かると思つてほしい。

一方、車内のリフォームの場

で、それにまとめていくらといつたオーダーになつてくると全体的に金額も下がつていく。

そういうわけで、実例集で紹介している金額はあくまでも目安。クルマの程度、状態によつて変わつくるので、現車を持ち込んで見積もりを取つてもらつてはじめて価格が分かると思つてほしい。

古くなつたクルマや中古車でも、シート生地の張り替えやカーテンを変えるだけで車内の雰囲気がよくなり、気分も変わる。内装だけでなく合わせて外装もリフォーム。例えば全塗装まですれば別のクルマのように見えるだろう。リフォームをすることで、気に入ったクルマにすることができるのだ。

合にはやはり現車の確認が重要だ。そして変更部分の打ち合わせを経て、見積もり→製作期間はだいたい1ヶ月から1ヶ月半くらいの予定になるので、それくらいを見越して購入計画を立てるといいだろう。

またカトーモーターはムク材を使った家具の作りに定評がある。テラ500の場合のリフォームでは家具の扉だけをムク材に変更したが、それだけでも車内での雰囲気ががらりと変化したことが分かるだろう。